

もとむら伸子



経歴
経歴／2014年衆院選比例東海ブロックで当選、現在2期目。総務委員、憲法審査委員、党幹部会委員

東海から 政権交代の流れを 日本共産党の躍進で

ジェンダー平等実現を

2014年に初当選し、17年の総選挙でも議席を獲得したもとむら伸子衆議院議員。党国会議員団ジェンダー平等推進委員会でセクハラ・DV（配偶者などパートナーからの暴力）・性暴力を担当する一人です。

ジェンダー問題には、超党派のチームでDV防止法を成立させた八田ひろ子参院議員の秘書時代（1998～2004年）から取り組んできました。

DV被害者からの生活相談や支援団体との懇談、現地調査や海外事例の研究を重ねるなかで、痛感したのは女性の多くが経済的に自立できず、パートナーの暴力から逃げるのができない現実です。

女性労働者の約6割が非正規雇用。正社員に比べて賃金を低く抑えられ雇用不安を抱えながら働いています。

「ジェンダー平等を実現するには女性の経済的自立を進めることが重要。ハラスメントや暴力は深刻な人権侵害であり、被害者の力を奪うもので絶対に無くさないといけない」。当時から強く思っています。

2期目に所属した衆院総務委員会では「支援の有無が被害者の人生を左右する」と「性暴力被害者ワンストップ支援センター」の拡充を求めました。

全国のセンターを訪れ相談件数や体制、心理的支援、証拠採取の在り方などを調査。18年の国会質問では、47都道府県平均で1県400万円に満たないセンターへの交付金の増額を求め、野田聖子総務相から「改善にとりくみたい」との答弁を引き出しました。

センターの周知を求めた国会質疑では、内閣府が「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」（6月）に学校を通じた中高生への周知を盛り込みました。野党共同で性暴力被害者支援法案やセクシユアルハラスメント禁止法案も提出してきました。

日本のジェンダーギャップ指数は06年の80位から19年には121位まで後退。根強く残った女性差別が解消されていません。

衆院東海比例ブロック予定候補

おさな いふみこ

長内史子

党愛知県委員会
青年学生部副部長、
党准県委員



学び保障できる社会を

衆議院比例予定候補の長内史子です。私は10年以上、学生、労働者の実態を調査し国会議員や行政に届ける活動をしてきました。リーマンショックの派遣切り、ブラック企業の過労死、学生が高

政治を動かす論戦力 ジェンダー平等社会の実現に全力

もとむら議員とともに厚生労働省に児童養護施設での性暴力の実態調査を求めた春日水鳥（みどり）さん（44）は話します。「もとむらさんは課題を的確に捉えて力になってくれます。職員や専門職の増員など国が動かないと変わらない部分を国会でさらに追及してほしい」

性暴力根絶を目指して世界各地で「#Me Too」運動が広がった17年。日本でもジャーナリストの伊藤詩織さんが声をあげました。もとむら議員は勇気をもって声をあげた被害者を一人にさせないと、制度改善を求める集会などで、ともに声をあげてきました。

加害者処罰のハードルは高く、静岡や名古屋、福岡の各地裁で性暴力事件の無罪判決が相次ぎます。もとむら議員は2月の予算委分科会で刑法改正の必要性を強調し、検討会に被害者を参加させるよう求めました。

刑法改正へ政治動かす
森雅子法相は「被害者が泣き寝入りしないよう検討を進めたい」と答弁。被害者や市民の運動もあり、法務省の検討会委員に初めて被害者が選任され、被害実態に即した刑法改正へ動きだしています。

コロナ禍の総務委員会では世帯主がまとめて受け取る制度になっていった一人10万円の特別定額給付金を「個人に給付すべきだ」と追及。配偶者などの暴力や虐待から逃げ出せない被害者に給付するよう求めました。
高市早苗総務相は「一時的にでも逃げたケースは個人給付できると答弁。質問後、もとむら議員にDV被害者からこんなメッセージが寄せられました。
「苦しかった立場を思い出し、泣いてしまいました。逃げたくても逃げられない。そんな人の方が多いのに、この国の姿。コロナを機に、おかしさに気付き、共感してくれる人が増えてきていることが救いです」（裏面へ）

東海ブロック後援会ニュース 11月②号
東海ブロック比例候補者の活動を紹介し
発行：日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄3-12-25 TEL.052(264)0833 FAX.052(264)0850

- ★消費税減税を
- ★核兵器禁止条約1月発効！日本も参加を
- ★菅首相の学術会議への人事介入をただす
- ★コロナ対策－医療体制の拡充、事業と雇用を支援を

い学費によって退学をよぎなくされてきた実態をみてきました。そのたびに国や行政に雇用を守る法律や学費値下げを求めてきました。いま、新型コロナナのもとで誰もが被害をうけています。学生は生活費がなく一日一食、若い労働者がまっさきに仕事を奪われ困窮しています。一方、菅政権は自己責任をおしつける政治をつづけようとしています。国がやるべきことは国民の生活を支えることです。私が国会へいけば政権交代と野党連合政権に近づきます。国会に女性と若者の声を反映させるため、私を国会に送り出してください。



比例東海は2議席の実現、3議席以上をめざします

私たちは小選挙区でがんばっています

96万(15%)の実現、60万人の後援会員を

もとむら伸子さん

人間の尊厳大事にする社会 原点

被爆した父親の頑張る姿みて

もとむら議員は1972年、愛知県豊田市生まれ。長崎市で被爆した父親から被爆体験を聞いて育ちました。日本共産党の職員として私利私欲なく、まじめに頑張る父親の姿を見て、日本共産党をずっと信頼してきました。

京都の大学に進学し、日本古代史を専攻。「人間の尊厳」一人ひとりが差別されない大事な存在であることを熱心に説く近現代史の先生の授業が好きでした。ある日、先生が語った言葉が今でも忘れられません。

「僕は共産党員ではないけれど本当に人間の尊厳を保障しようと思ったら社会主義、共産主義にいくしかないと思う」利益が最優先ではなく、命や尊厳、自然環境を大事にする社会への方向性を語った言葉が心に響きました。

しかし現実には、米国と一緒に戦争できる国へと突き進み、不要不急の大型開発で自然を破壊、お金がなければ必要な医療・介護も受けられない…。「そんな政治を変えたい」と考えていた時に父親に誘われ入党しました。大学4年生の時でした。

八田ひろ子参院議員の秘書6年

「まだまだ勉強が足りない」と大学院で学び、卒業後は新日本婦人の会愛知県本部に勤務。その後、1998年に愛知選挙区から当選した八田ひろ子参院議員の秘書を6年間務めました。

八田議員は、議員立法提出数が42件と、改選124議員中「1位」(04年6月6日付「朝日」)。質問準備のために議員会館に寝



泊まりしたり、現地調査に同行したり、「一時は親とよりも一緒に居た」という八田議員から多くを学びました。

現場の声をつかんで

「現場の声をつかまなければ、論戦で打ち勝つことはできない」「現場の皆さんが頑張っているから論戦できる」。八田さんがよく話していた言葉です。

もとむら議員の徹底した現地調査に基づく「血の通った質問」は、私利私欲なく頑張る党国会議員団の伝統を引き継いでいます。もとむら議員の初質問(15年3月)はリ

ニア問題。JR東海が住民説明会やホームページで深さ40%以上の「大深度地下」は所有者の権利が消滅するかのような説明をしていた問題を追及。国交省に消滅しないことを認めさせ、JR東海への指導につなげました。

党国会議員団としてリニア沿線の1都6県すべてに足を運び調査を重ねてきました。トンネル掘削に伴う残土運搬の大型ダンプが通る影響、山梨実験線の車両基地事故や大井川などの水枯れ・減水問題、地下水調査で基準値を超える鉛が検出されても住民に知らせないJR東海の不誠実な姿勢を聞きとり、政府に突き付けてきました。

<p>静岡1区</p>  <p>前衆議院議員 しまづ幸広</p>	<p>静岡2区</p>  <p>党静岡県常任委員 女性・子育て部長 鈴木ちか</p>	<p>静岡8区</p>  <p>元衆議院議員 党静岡県副委員長 ひらが高成</p>	<p>愛知6区</p>  <p>党尾中地区副委員長 元春日井市議 内田けん</p>
<p>愛知7区</p>  <p>党准中央委員 愛知県副委員長 すやま初美</p>	<p>愛知10区</p>  <p>党一宮・尾北地区委員長 元一宮市議 いたくら正文</p>	<p>愛知11区</p>  <p>党豊田市委員会事務局長 本多のぶひろ</p>	<p>愛知14区</p>  <p>豊川市議 党東三地区常任委員 安間ひろこ</p>
<p>岐阜1区</p>  <p>党県委員 岐阜市委員長 やまこしとおる</p>	<p>岐阜2区</p>  <p>党西濃地区委員 2区国政対策委員長 三尾圭司</p>	<p>岐阜5区</p>  <p>党東濃西地区委員長 元土岐市議 おぜき祥子</p>	<p>三重4区</p>  <p>党南部地区委員長 元津市議 中川民英</p>

衆院選挙制度解説

衆議院比例代表は

日本共産党 と

政党名を書きます (個人名は無効です)

小選挙区は候補者名で